

長尾和宏先生

拝啓 初めまして。突然このような手紙で失礼いたします。

私は _____ と申します。昨年母が _____ の診断を受け、いろいろと調べていたところ、長尾先生の書籍「抗がん剤10のやめどき」に出会い、読ませて頂きました。とても心強く今でも繰り返し読みます。ブログも拝読させて頂いています。

長尾先生、お忙しいところ大変恐縮ですが、在宅看取りでわからないことがあります。もし可能でしたら、私の疑問に対する答えを教えてくださいませんか。

私は、3ヶ月ブログで「 _____ ブログ」というのをやっており、母の病気についても書いています。そこで他の _____ の方や、その家族の方達とブログを通して交流させて頂いています。先日、 _____ さんのお母様が _____ でお亡くなりになりました。自宅でお亡くなりになった後に検死をされたそうです。医師の死亡診断書もあったのに、なぜ、そのようになってしまったのか、どうしてもわかりません。 _____ さんのブログのコピーを同封させて頂きました。長尾先生におかれましては、大変お忙しい中、失礼かとは思いましたが、少し目を通して頂けませんでしょうか。そして簡単で構いませんので教えてください。

〔私の疑問〕

- ① 在宅看取りで医師の死亡診断書があるのに検死をされたのは、お母様が お亡くなりになる前に、ちゅんさんが確認の為に警察に電話を入れたのが、いけなかったのでしょうか。
- ② 確認はどこにすべきだったのでしょうか。また、事件を疑われない為には、どうすれば良かったのでしょうか。

私の母も、TS1で治療をしておりましたが、先日医師から抗がん剤の効果が無くなったので「今」やめるのがベストのタイミングとの助言を頂き、これ以上の治療はしないつもりです。母の希望は、「最後は家で迎いたい」と考えているようです。

今回の　　さんのお母様のように検死をされるのは決して
望みません。私は在宅看取りは、医師が判断して下さいは、
警察が入ることはないと理解していました。気をつけることは、
救急車を呼んではいけないという事だと。今回のケースは、何が
いけなかったのか... どうすべきだったのか...

大切な人の死だけでも大きな悲しみがあるのに、もし私が
自分の無知のせいで同じ状況になったら、自分を許せません。

長尾先生の患者様のお時間を取ってしまい、それを承知の上での
凶々しいお願いです。先生のお時間を少しだけ分けて頂き、
簡単で構いませんので、教えて頂ければ大変ありがたいです。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具